

地域の方と触れ合い、支えあっ

身近でできる ボランティア活動

知的障がい者との触れ合い

笑顔に触れ、 温かみを感じ、 自分の成長を実感できる



オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株)
中村 勉

障がい者の方々の 自立を目指して

群馬県に住んでいたときに参加した児童養護施設でのボランティア活動が楽しかった思い出がありました。名古屋への転勤後も仕事以外で人の役に立ちたいと思っていたところ、JJCCより愛知県内のボランティア紹介があり、参加しました。

大森授産所は知的障がい者の就労支援を行っている施設です。知的障がいと言っても、ある程度会話できる方、自分で言葉を発するのが難しい方、気分の上がり下がりが多い方などさまざまです。このような知

的障がい者が就労し、自立できるよう手助けするのが大森授産所です。

同施設のボランティアに求められているのは、知的障がい者の方々と行動をともにし、会話することです。施設外の人間と触れ合い、日常の活動を通して社会の中で生きていく能力を身につけることを目指しています。

新しい自分を発見する機会に

ボランティアに参加してみると、最初は戸惑うことばかりでした。話をしても、障がい者の方が何を伝えたいのか理解できないことがよくありました。しかし、お好み

焼き作りやボウリングを一緒にしていく中で、少しずつ変化が出てきました。私に話しかけてくれ、ハイタッチなどスキンシップをとってくれたのです。笑顔も出るようになり、私の心も明るくなりました。知的障がい者の皆さんと触れ合い、やさしさをもらい、喜びを感じました。活動に参加して自分も成長できていると実感しています。社会貢献は新たな自分を発見できる機会ではないでしょうか。

私は単身赴任のため、毎週ボランティアに参加することはできませんが、無理のない範囲で継続的に楽しく参加していきたいと思っています。



作業、餅つき大会、みんなで食事、大森授産所の様子

ボランティアの方との触れ合いが 障がい者たちを成長させる

大森授産所は障がいを持つ方をサポートする福祉施設です。特に注力しているのが障がい者の就労支援です。福祉施設に入ると、そこが終着点となる障がい者が多くいます。私は福祉施設は通過点だと思っています。施設で成長し、社会に出て行くきっかけを提供したいのです。しかし、障がい者雇用はまだ進んでいません。障がい者への先入観や、保護者や福祉施設が閉鎖的な面もあり、互いの理解が不足しています。

この社会を変えるため私たちは開かれた施設を目指し、積極的に地域社会と触れ合い、ボランティアを募ってきました。それによって世間の方々の認識を変えたいのです。

また、ボランティアの方々と接することは、障がい者たちにとって社会のルールやコミュニケーションの取り方を学ぶ貴重な機会です。利用者たちはボランティアの方々と会えるのを本当に楽しみにしています。彼らの笑顔を見ていた

ければ、それがよく分かるはずですが。

ボランティアへの参加は気楽なことではありませんが、得られるものは決して小さくありません。ぜひ多くの方に参加していただきたいです。

J&Jには社員のボランティアを支援する仕組みがあります。それによって交流が生まれるのですから、本当に素晴らしいことだと思います。ぜひ、J&JとJ&Jで働く皆さんに、社会を変える後押しをしていただきたいですね。

社会福祉法人
大森福祉会
大森授産所

酒井 光雄さん



www1.ocn.ne.jp/~omorij/

J&J社員のボランティア参加を促進することもJJCCの重要なテーマの1つです。社員が自主的に関わるボランティアの輪はさらに広がっています。

誰もが参加できる ボランティア月間

JJCCは、6月の1か月間を「ボランティア月間」として全国各地でボランティアの機会をJ&J社員に提供します。身近な地域の方や被災地の仮設住宅で暮らす方と触れ合う活動、物品寄付、社内イベントなど、さまざまなプログラムを用意しています。誰もが身近なところで楽しくボランティアに参加できることがこの企画の狙いです。ボランティア月間はAPCCのリードのもと、2010年に始まりました。

※APCC：アジア・パシフィック社会貢献委員会。アジア・パシフィック14か国、香港、ビジョンケア・アジア・パシフィックによって構成され、アジア・パシフィック地域におけるJ&J社会貢献活動の統括的役割を果たしています。



ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
ビジョンケア カンパニー
宮原 由佳

水治訓練

参加することで 新しい発見が得られる

水治訓練とは、温水プールなどを利用して行う障がいのある子どものトレーニングです。私にできるのか不安でしたが、「できなかったことができるようになっていく」様子を目の当たりにし、また彼らの笑顔で、私にもできることがあると感じました。私たちが地域社会に関わることで、人とのつながりが増えていくと思います。



ヤンセンファーマ(株)
加藤 舞

視覚障がい者へのガイド

これまで気づかなかった 感覚や環境への対応を学べた

アイマスクなどを使用した体験型講習で、視覚障がい者を誘導する難しさと視覚以外の感覚が敏感に働くのを体感しました。ボランティアを通じて、さまざまな人とつながりを持たただけでなく、これまで気づかなかった感覚や環境への対応を学べたことは、大きな収穫でした。またこのようなガイドの機会を持ちたいと思います。

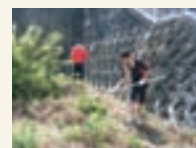


ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
メディカル カンパニー
谷元 重智

清掃活動・運動会のお手伝い

役に立てていることを実感し、 爽快な気持ちになれる

私は広島修道院で活動しています。ここではさまざまな事情により家庭で養育を受けられない約120名の子どもたちが生活しています。一昨年は施設内で草刈り、昨年は里親や地域の人々が参加する運動会の手伝いを行いました。いずれも夏の炎天下で汗だくでしたが、役に立てていると実感でき、とても爽快な気持ちになりました。



ヤンセンファーマ(株)
橋口 信博

花壇整備

どんなことでも 喜んでもらえる

福岡こども病院の花壇整備のボランティアに参加しました。活動を通じて、さまざまな人と交流できたのは、大変有意義だったと思っています。また、どんなことでも喜んでもらえる知り、頑張って体を動かしました。ひと通り作業が終わったあと、整備した花壇を見る患者さんやご家族の笑顔に、喜びと充実感を感じました。



ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
コンシューマー カンパニー
武田 直樹

児童養護施設訪問

得意分野で 社会貢献をしていく

2008年の鐘の鳴る丘少年の家訪問開始当初から参加をしています。毎年訪問すると、子どもたちが成長している様子を見ることが出来ます。また、継続して関わることで信頼を得られると、子どもたちは安心していろいろなことを話してくれます。いつも元気な子どもたちとの関わりから私自身がパワーをもらっています。



さらに広がるボランティア活動

JJCCは社員のボランティア活動を促進するためにさまざまな取り組みを行っています。

いろいろな形の ボランティア

声の花束

目の不自由な方をはじめ、活字による情報入手が困難な方々に「声」で情報を提供する活動です。JJCC女性サブコミッティが日本フィランソロビー協会と協働で企画・運営し、J&Jの社員ボランティアがジョンソン・エンド・ジョンソン(株)コンシューマーカンパニー「赤ちゃん相談室(www.johnsons.jp/baby/faq/)」に掲載されている健康情報を音訳して紹介しています。



緊急災害支援募金

地震などの自然災害によって大きな被害がもたらされた地域に対して、被災された人々の生活支援や地域の復興を目的として、緊急災害支援募金を実施しています。J&Jグループ社員から集められた募金に会社からのマッチングギフトを加え、現地の支援団体を通じて被災地へ届けます。2011年度は東日本大震災とタイ大洪水に対して社員から温かい募金が集められました。



「買うボランティア」～被災地物産展～

2011年6月から3か月にわたり、宮城、福島、岩手のアンテナショップに協力していただき、各県の物産展を東京・千代田区のJ&J本社で開催しました。

この物産展は、JJCCメンバーの「何かしたい」という思いから実現したものです。通信販売も実施し、多くの社員の参加につながり、大盛況のうちに終わりました。主催メンバーは2012年度も引き続き同様の企画を実行したいと考えています。



鐘の鳴る丘少年の家訪問

鐘の鳴る丘少年の家ではさまざまな事情で家族と一緒に暮らせない幼児から高校生までの70名が共同で生活しています。施設では近隣住民との良好なつながりを大切にしながら、家庭的な環境の中で生活体験を積むことで、子どもたちの社会的自立を促しています。JJCCでは毎年2回、鐘の鳴る丘少年の家に社員ボランティアを派遣しています。

子どもたちと楽しい一日を過ごした社員たちは元気もらっています。



ボランティア情報提供

JJCCのイントラネットでJ&J社員が参加できる、身近なボランティア活動を随時紹介しています。初心者でも参加できる内容や、土日の活動など、ボランティア体験を希望する社員が自分に合ったボランティアを見つけることができるよう工夫しています。



社員のボランティア活動を後方支援

寄付申請

J&J社員の自主的なボランティア活動を応援する目的で、JJCCでは主に社員がボランティアとして活動に参加しているNPOを、活動資金やJ&J製品の寄付という形で支援しています。2011年度は32団体へ寄付を実施しました。



社員がJJCCの活動やNPOの活動を知る

コントリビューション☆ウィーク2011

2011年9月20日から22日までの3日間、JJCCのパートナーとして協働しているNPOのメンバーを講師としてJ&J本社に招き、講演会を開きました。現代の社会の中で、支援を必要としている対象はどこにいるのか、どのような解決方法があるのかを学びました。

また、講演を聴いてJJCCの活動に興味を持った社員はJJCCサブコミッティメンバーの一員として、活動に参加しています。



高齢者サブコミッティイベント

2011年11月29日、J&J本社で寺子屋回想法の勉強会を行いました。寺子屋回想法とは、過去の体験や出来事を語ることで心の安定を取り戻す「回想法」を応用した心理療法の一種で、高齢者と若い世代が語り合う場を設ける取り組みです。勉強会では高齢者と交流するためのヒントを学ぶために、回想法の効果や話を「聴く」コツ、ロールプレイなどを行いました。

